

(様式例2)

平成21年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立大垣工業高等学校

学校番号 27

自己評価

1 学校教育目標	誠実にして心豊かな人間性と強くたくましい身体の上に、すぐれた知識と技術を兼ね備え創造性に富む実践的な産業人の育成を図る。 このことを実現するために本年度は以下の重点目標を設定した。 (1) 社会で通用する確かな力を身に付ける教育の推進 (2) ルールやマナーを自ら守り、社会的規範を大切にする生徒の育成 (3) 自ら健康と安全を管理する生徒の育成		
2 評価する領域・分野	生徒指導(教育相談)		
3 現状・生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	《アンケート結果より》 ・マナーや社会規範指導について、保護者は97%、生徒は92%が「あてはまる」と回答しており保護者の意識と生徒の現状にギャップがないことが分かった。 ・生徒一人一人にあった生徒指導に関して、保護者は17%、生徒は4%が「わからない」と回答しており、本校の教育方針と指導の様子が保護者にはっきりと伝わっていない現状があることが分かった。 《地区別懇談会より》 ・昨年度の地区別懇談会で傘さし運転の問題が取り上げられ、傘さし禁止に向けての取り組みの要望があった。		
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	交通安全指導の強化とマナー意識の向上を図る 身だしなみを正しマナーや社会規範を身につける指導を行う メール配信や文書連絡により、保護者との連携を図る。		
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	・全職員による組織的な指導を展開する。 ・メール配信を活用し保護者との連絡を密にする。		
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標		
(1) 全職員による登校指導、交通安全指導、身だしなみ指導を行い、生徒の意識の向上と基本的な生活習慣の確立を目指す。 (2) 学期初めに主任による登校指導を行い学期初めの適応指導と8時25分入室完了の徹底を行う。	(1) 欠席者数や遅刻者数を昨年度より減少できたか。 (2) 傘さし運転を皆無にし、合羽による通学の定着が徹底できたか。 (3) 8時25分入室完了が徹底できたか。 (4) 身だしなみ指導の再指導が皆無にできたか。		
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価	
・全職員で校門指導と交通安全指導を分担し自転車安全指導や身だしなみ・マナー指導を行った。 ・学年会毎に全クラスの身だしなみ指導を行い統一した基準で規範意識を身に付けさせた。 ・本校の行事や啓発活動をメールにより保護者にも配信した。	組織的に登校指導、身だしなみ指導を行うことができたか。 欠席や遅刻を減少させることができたか。 全校生徒が雨天時に合羽を着用したか。	A A B	
11 成果・課題	学年会中心に身だしなみ指導を行うことにより、指導基準の統一と公平性を保つことができた。(担任の負担が軽減した) 12月までに傘さしにより43人の生徒を指導したが再犯者は皆無であり、傘さし禁止はほとんどの生徒に定着することができた。 12月までの欠席延数が昨年度比で17%減少し、遅刻延数は37%減少した。		総合評価 A B C D

交通安全実態調査から雨天時は必ず合羽を着用すると回答した生徒は69%で学校を離れたときの交通安全マナーの向上が問題点として明らかになった。

12 来年度に向けての改善方策案

全職員による登校指導、交通安全指導、身だしなみ指導を継続し職員の共通行動と生徒の基本的生活習慣の維持を図る。

学期初めの主任による登校指導を継続し学校生活への適応化を図る。

軽微な問題行動を改善し授業規律の確保と学習への集中力向上のため、職員の連携を高め見逃さない指導を徹底する。

交通安全教室などにより交通安全とマナーの一層の向上を図る。

学校関係者評価

実施年月日：平成22年1月29日

【意見・要望・評価等】

- ・
- ・
- ・